

# 一般質問

(4～7ページ中段まで)

市議会定例会では、提出された議案を審議するほかに、一般質問として、各議員が市政全般に対して質問することができ、今回は26人37件の一般質問がありました。(他はその他の質問)

## 街頭消火器を周知するための要綱等を明記する考え

## 設置状況などを踏まえての整備を要綱等の整備で検討していきたい

加藤 雅大議員(市政)

市地域防災計画では、初期消火体制の強化を挙げているが、街頭消火器の設置目的や賠償責任などについては本市の規則等で明記されていない。



▲街頭消火器

また、利用方法も市民によく知られていないと思う。そこで、街頭消火器についての周知を図るため、要綱等で明記すべきと思うがどうか。

環境安全部長 本市では、街頭消火器設置に関する規定を設けていないが、取扱いについては、内部基準として市防災用消火器配備基準を定め、維持管理を行っている。

## 健全財政の維持 市長の考え

## 歳入に見合った歳出となるよう積極的な行財政改革が不可欠

鈴木 錦治議員(市政)

我が国の財政状況はリーマンショックや東日本大震災などの影響により深刻な状況が続いている。地方自治体にもその影響は及んでおり、具体的な施策と決断が政治に求められていると考える。そこで、厳しい財政状況の中、どのように健全財政を維持していくのか市長の考えを聞きたい。

時財政対策債の借入れにより財源を補てんしているが、25年度以降は同対策債の借入れができなくなるため、その分も含めると数年で基金を使い切ることになる。現在の状況はまさに正念場であり、早期に財源不足を解消するためには歳入に見合った歳出となるよう積極的な行財政改革へ取り組んでいくことが必要不可欠であると認識している。

## 旧甲州街道の一層の渋滞 懸念されるが解消策は

## 府中警察署に時差式信号機を設置を要望している

臼井 克寿議員(市政)

旧甲州街道の府中駅近辺では、土・日曜日になると大渋滞が発生しているが、市は原因を把握しているか。

市長 市役所前交差点の西側に右折レーンがないことや大國魂交番前の左右にある駐車場利用の車列ができることが渋滞の原因となっている。議員 府中駅南口第一地区への工事車両や完成後の来客により、一層の渋滞が懸念されるが、その解消策を聞きたい。

環境安全部長 市役所前交差点については、府中警察署に時差式信号機の設置を要望し



▲混雑する旧甲州街道

## 府中駅南口第一地区再開発 仮設店舗の設置について 大胆な工夫を

## 質問内容を十分加味し 活性化を図っていききたい

比留間 利蔵議員(市政)

府中駅南口第一地区の再開発事業に関しては、今までの再開発に比べ地権者や借家人が多く仮設店舗の確保も大変と思う。

そこで、市では仮設店舗への出店希望者及び必要面積をどの程度と想定しているか。地区整備推進本部長 組合が実施した借家人のアンケート調査では、約半数が仮設店舗を希望している。また、面積は約3

300㎡を想定している。議員 仮設店舗については、面積の折り合い等の問題があるが、業種ごとに仮設店舗を設置するなど大胆な工夫をしてもらいたい。また、市として駅周辺の土地購入や長期にわたる賃貸も考えてもらいたい。副市長 けやき並木周辺は、市民の憩いの場でもあるため、質問内容を十分加味しつつ活性化を図っていききたい。

## 再開発事業と庁舎建設 両立は財政的に危険では

## 再開発事業は必要財源を確保 庁舎建設も基金、市債を活用し財源を確保

杉村 康之議員(市政)

市政を取り巻く環境について、市長は財政面などどのような問題意識を持っているか。

市長 リーマンショック以降、財源不足が生じており、財政の硬直化が進んでいる。新たな財源の確保や事務事業の見直し、

## 郷土の森観光物産館 立地を生かした集客の取組は

## 物産館利用者の利便性が 高まる企画などを検討していきたい

石川 明男議員(市政)

歴史や文化、豊かな自然を有する本市には観光という視点において、また、発展の余地があると思う。そこで、郷土の森観光物産館が開館して3か月が経過したが、今後に向けた課題を聞きたい。



▲郷土の森観光物産館

議員 多摩川等に近い立地を生かし、例えばレンタサイクルの設置を行うなど、様々な観点から集客に取り組みべきだと思いがどうか。

また、郷土の森公園パークキュー場が近くにあるため、物産館利用者の利便性が高まる企画などを検討していききたいと考えている。

## 高齢者福祉サークルが 担当部署間の横断的な連携が必要と考える

小野寺 淳議員(市政)

高齢者福祉サークルの向上を図るには、高齢者が健康を維持し、社会参加、社会貢献のできる環境をつくる必要があると考え。そこで、現在の縦割り組織を越えた対応が必要と思うがどうか。

業を進めていくためには担当部署間の横断的な連携が必要と考える。議員 組織間で話し合いを進めるきっかけづくりとして、ワーキンググループ等を設置する考えは、福祉保健部長 今後、ワーキンググループなどを発足させ、部署を越えて互いに連携するなど高齢者のニーズに合った生きがい対策を検証できる組織づくりが必要であると考える。

※( )内は、会派名を略して掲載しました。市政…府中市議会市政会 市フォ…市民フォーラム 公明…府中市議会公明党 共産…日本共産党府中市議会議員団 ネット…生活者ネットワーク 志高…志高会 友愛…友愛会